

アースアキュライザーの活用(7)(HP 収載)

—Leak Point 1 への適用—

1. 始めに

アナログアキュライザーの導入以降、前報(6)でアースラインの再構成を実施しました。この結果を踏まえて追加のアースアキュライザー2本を入手しましたので、適用箇所を決めていきます。

2. アースアキュライザーEA-1の試聴計画

前報(6)の結果、Garad401のフォノステージを受け持っている Leak Point 1は次のような接続を行っています。

Leak Point 1/共通アースポイント接続

Western 単線→光城精工 Crystal E 付属ケーブル

アースアキュライザーの導入(6)では共通アースポイントとの接続を検討しましたが、Leak Point 1との結果が良かったので、さらに次のような変更を行うことにしました。

Leak Point 1/共通アースポイント接続

光城精工 Crystal E 付属ケーブル→アースアキュライザー

なお、Crystal E と共通アースポイントとの接続も Crystal E 付属ケーブルに替わっており、Leak Point 1 と Crystal E は2本の Crystal E 付属ケーブルで共通アースポイントと接続されていたのが、一方がアースアキュライザーに替わることになります。

音源はアースアキュライザーの導入(6)でも試聴した下記を使用します。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein (Vn)

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・シオルティ指揮ウイーンフィル

EMI AA 9117・C

フリードリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

3. アースアキュライザーEA-1の試聴結果

Leak Point 1 と共通アースポイント接続を光城精工 Crystal E 付属ケーブルからアースアキュライザーに替えますと次のようになりました。

バッハの *Sonatas & Partitas* は、前報(6)の変更を受けて、若干音の精度がよくなっていますが、アースアキュライザーに替えますと、音像がくっきりとたち、擦弦音や胴鳴りも明瞭になります。

ベートーヴェン選帝侯のソナタは、打鍵のアタック感と余韻が明瞭になり、高域の輝きが増します。

ワーグナーのワルキューレは、オーケストラの分離が向上し、金管の音の切れがでて、ソプラノやメゾソプラノの位置関係が明白になります。

ヘンデルのメサイアは、俄然合唱の分離が向上して迫力がでてきますし、ソプラノや弦の一音一音がくっきりとしてきます。また、バスの歌唱も力強く、トランペットも輝きを増します。

AV ドーナツの効果(3)でアースアキュライザーを AV ドーナツに通す効果を認めたことから、今回もアースアキュライザーを AV ドーナツに通して聴いてみたところ、まるでアースアキュライザーの効果を AV ドーナツが増強するかのように、上記のアースアキュライザーの効果が一段と明白になってきました。

このシステムは Garad401 と FR-64s と Leak Point 1 というレトロな構成であり、カートリッジも ZYX R100-EX でそれほど高価なものではありませんが、アースケーブル1本でフレッシュな音に生まれ変わり、さらにその効果を AV ドーナツが増強したことになりました。

4. まとめ

Leak Point 1 と共通アースポイント接続を光城精工 Crystal E 付属ケーブルからアースアキュライザーに替える効果を認めました。

以上